

2017-B

I 18B

拠出金・基金
の名称

アジア諸国における3Rの戦略的实施支援事業拠出金

種 別

☒イヤマークのみ ☐一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連地域開発センター

【所管官庁担当局課・室名】環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

アジア各国においては、3R国家戦略に基づいて、3Rや廃棄物管理の具体的な事業形成や政策立案を進める必要があるが、当該分野は、従来優先度が低いために実績に乏しく、また、これらの国では開発全般にわたって先進国の支援を必要としている。本拠出金は、国連機関との連携を通じて、各国での3R国家戦略の実施を促進し、アジアでの循環型社会構築に貢献することを目的とする。

アジア各国における3R関連の事業形成や政策立案を促進するため、各国間の政策対話の推進や多様な関係者間の協力等を通じてアジア太平洋地域の3Rを推進する閣僚級のプラットフォームである「アジア太平洋3R推進フォーラム」を開催するとともに、2014年2月のアジア太平洋3R推進フォーラムにおいて賛同を得た、同地域における廃棄物分野のデータや情報、指標等を整備したアジア太平洋3R白書の作成を実施するため、実施主体となる国連機関(国連地域開発センター(UNCRD))に対して拠出を行う。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成29年度	44,550			円建て	100
平成28年度	48,600			円建て	100
平成27年度	29,700			円建て	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

各国における3R関連の事業形成や政策立案を促進するため、政府機関、国際援助機関、民間セクター等が参加する「アジア太平洋3R推進フォーラム」を開催している。また、当フォーラムにおいては、アジア太平洋地域が2023年までに目指すべき目標を掲げたハノイ3R宣言が採択され、各会合における当宣言に基づく具体的取組のフォローアップを通じて、各国の3R推進の後押しをしている。

平成30年4月にインドール(インド)で開催された第8回会合では、アジア太平洋地域の40か国以上から、閣僚級を含む700人超の参加者を得て、「3Rと資源効率性を通じたきれいな水、土地、大気の実現—アジア太平洋地域の21世紀ビジョン」を全体テーマに議論。会合の成果文書として議長サマリーが採択され、アジア太平洋地域の3Rに関する情報を取りまとめた「アジア・太平洋3R白書」第一版の発表、地方自治体の首長らによる「インドール3R宣言」の採択も行われた。

【備考】